

(参考情報) 韓国農林畜産食品部公表情報

農林畜産食品部プレスリリース (2017年3月29日15時00分付け)

豚の口蹄疫ワクチン抗体形成率82.7%

- 危機警報段階は、現行の「警戒」を維持 -

出典URL:

[http://www.maf.go.kr/list.jsp?&newsid=155449246&section\\_id=b\\_sec\\_1&pageNo=1&year=2017&listcnt=10&board\\_kind=C&board\\_skin\\_id=C3&depth=1&division=B&group\\_id=3&menu\\_id=1125&reference=&parent\\_code=3&popup\\_yn=&tab\\_yn=N](http://www.maf.go.kr/list.jsp?&newsid=155449246&section_id=b_sec_1&pageNo=1&year=2017&listcnt=10&board_kind=C&board_skin_id=C3&depth=1&division=B&group_id=3&menu_id=1125&reference=&parent_code=3&popup_yn=&tab_yn=N)

(機械翻訳等に基づく仮訳)

農林畜産食品部(キム・ジェス長官、以下「農食品部」)は、豚の口蹄疫ワクチン接種の実態を把握するために、3月20日から3月26日の間、全国の豚繁殖農場601戸(7,353頭、農家あたり10~13頭)を選定して、口蹄疫ワクチン抗体形成率検査を実施したと発表した。

◆(農場選定)客観性と代表性が確保されるように飼育形態と飼育規模を考慮

- ▶(飼育区分)飼育形態別(一貫飼育農場:肥育農場=6:4)、飼育規模別(2千頭以下:2千頭以上=6:4)
- ▶(検査頭数)一貫飼育農場13頭(母豚3頭、100~140日齢5頭、140日齢以降5頭)、肥育農場10頭(100~140日齢5頭、140日齢以降5頭)

\*統計学的有意性:有病率60%(抗体形成率)、信頼度99%、標本誤差5%

検査の結果、抗体形成率は平均82.7%(母豚93.2、肥育豚80.2)を示し、ワクチン接種が適切に行われていると判断した。

\*2017年2月常時予察結果:母豚91.4%、肥育豚68.9%

飼育規模(2千頭基準)と飼育形態(一貫飼育/肥育)別の抗体形成率に大きな差はなかった。

\*2千頭未満82.8%、2千頭以上82.5%/一貫飼育農場82.8%、肥育農場82.4%

ただし、検査農場のうち18農場(母豚6、肥育12)の抗体形成率が基準(繁殖豚60%、肥育豚30%)を下回ったことから、追加でワクチンを接種し、4週間後に確認検査を実施することにした。

また、忠清南道天安市の豚農場1戸(1頭)では、NSP抗体が検出されたが、ウイルス(抗原)は、検出されなかった。

\*NSP抗体検出農場については、口蹄疫緊急行動指針(SOP)に基づき、3週間の移動制限、追加確認検査、陽性畜淘汰、消毒などの防疫管理を推進

農食品部は、今回の一斉検査で抗体形成率はかなり高いレベルであったものの、最近、中国、ベトナムなど周辺国で口蹄疫が発生しており、既存の発生地域を中心に追加発生の可能性も残っていることから、当分の間、現在の危機警報段階(警戒)を維持することに

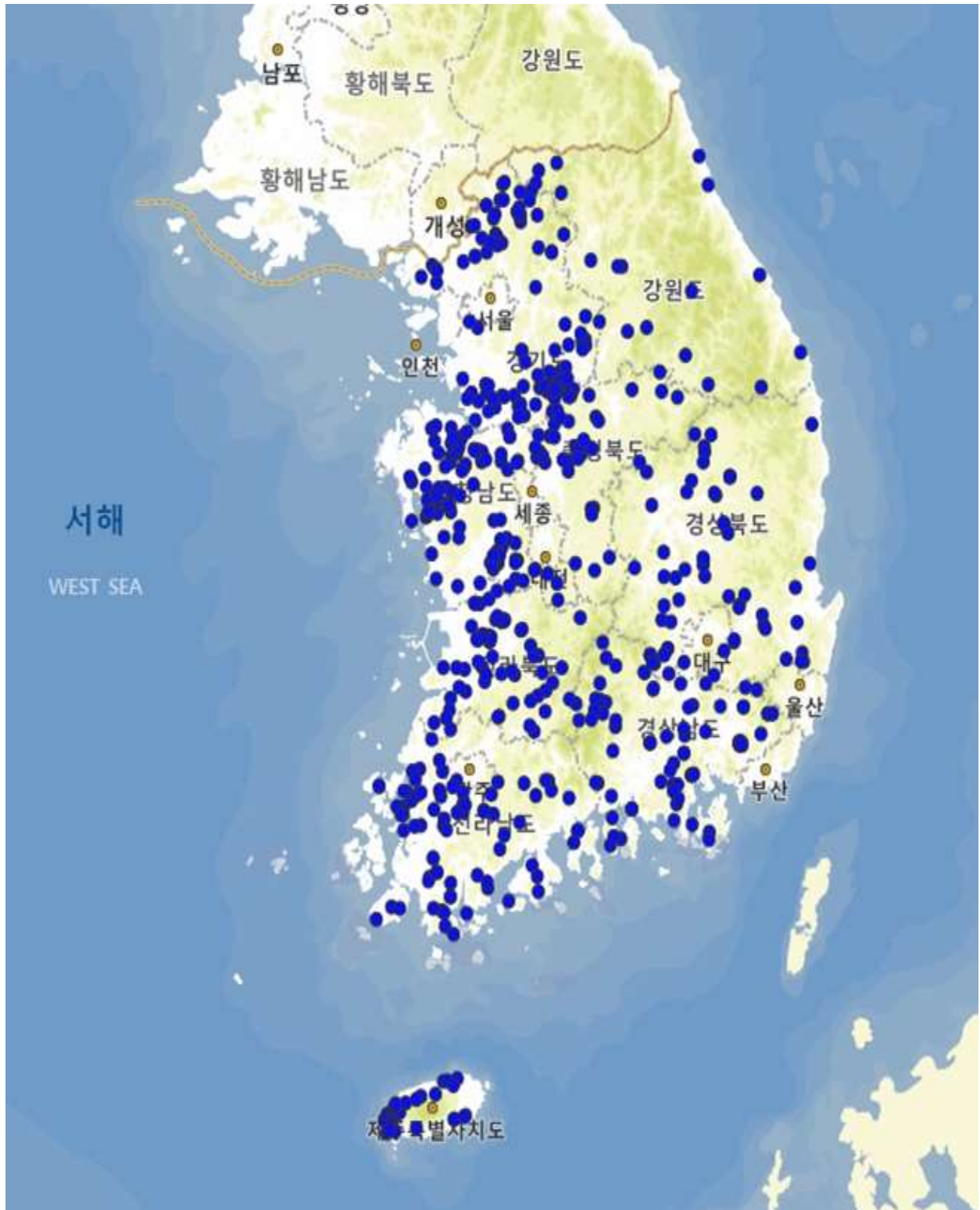
した。

\*家畜伝染病危機警報段階（矢印の順に下方調整）：深刻→警戒→注意→関心

農食品部は、5月末までの「口蹄疫特別防疫期間（2016年10月～2017年5月）」の間、全国の市・道（市・郡）で状況室を運営しながら防疫脆弱農場（NSP抗体、抗体形成率低調、密集飼育団地など）の定期点検、ワクチン接種の奨励、消毒などの集中管理により、口蹄疫の再発防止に最善を尽くす計画である。

参考 1

豚の口蹄疫ワクチンモニタリング農場の分布



参考 2

口蹄疫ワクチン抗体形成率モニタリング結果

1) 飼育規模別の抗体形成率

地域	合計				2000頭未満				2000頭以上			
	農場数	検査頭数	陽性頭数	形成率 (%)	農場数	検査頭数	陽性頭数	形成率 (%)	農場数	検査頭数	陽性頭数	形成率 (%)
京畿	110	1467	1206	82.2	66	882	735	83.3	44	585	471	80.5
江原	21	252	205	81.3	12	144	113	78.5	9	108	92	85.2
忠北	34	411	382	92.9	23	273	248	90.8	11	138	134	97.1
忠南	116	1364	1200	88.0	70	799	688	86.1	46	565	512	90.6
全北	65	773	673	87.1	31	367	325	88.6	34	406	348	85.7
全南	90	1107	928	83.8	53	637	545	85.6	37	470	383	81.5
慶北	54	650	439	67.5	31	370	260	70.3	23	280	179	63.9
慶南	73	868	660	76.0	45	528	399	75.6	28	340	261	76.8
済州	38	461	386	83.7	25	301	247	82.1	13	160	139	86.9
全国	601	7,353	6,079	82.7	356	4,301	3,560	82.8	245	3,052	2,519	82.5

2) 飼育形態別の抗体形成率

地域	合計				一環				肥育			
	農場数	検査頭数	陽性頭数	形成率 (%)	農場数	検査頭数	陽性頭数	形成率 (%)	農場数	検査頭数	陽性頭数	形成率 (%)
京畿	110	1467	1206	82.2	65	861	730	84.8	45	606	476	78.5
江原	21	252	205	81.3	14	182	147	80.8	7	70	58	82.9
忠北	34	411	382	92.9	23	300	280	93.3	11	111	102	91.9
忠南	116	1364	1200	88.0	68	884	774	87.6	48	480	426	88.8
全北	65	773	673	87.1	41	533	459	86.1	24	240	214	89.2
全南	90	1107	928	83.8	58	724	595	82.2	32	383	333	86.9
慶北	54	650	439	67.5	34	440	304	69.1	20	210	135	64.3
慶南	73	868	660	76.0	46	598	451	75.4	27	270	209	77.4
済州	38	461	386	83.7	38	461	386	83.7	0	0	0	0.0
全国	601	7,353	6,079	82.7	387	4,983	4,126	82.8	214	2,370	1,953	82.4